

ニューモデル、ケイマン S を導入

ポルシェ AG（本社：ドイツ、シュトゥットガルト 社長：Dr. ヴェンデルリン・ヴィーデキン
グ）は、新開発の水平対向 6 気筒エンジンを搭載したニューモデル、ケイマン S の導入を
2005 年 11 月 26 日にドイツより開始いたします。

ケイマン S は、ボクスターをベースとしたスポーティーな 2 シーターモデルです。搭載す
る 3.4 リッター 6 気筒ボクサーエンジンは、中低速域で豊かなトルクをコンスタントに生
み出す特性をもち、最高出力 217kW（295PS）を発生。最高速度は 275km/h に達します。
またミッドシップレイアウトを採用するケイマン S は、マニュアルトランスミッション仕
様車における 0—100km/h 加速で 5.4 秒をマークします。

これまで 911 モデルのみに装備されていた、吸気側のバルブタイミングとバルブリフトを
可変制御するバリオカム・プラスが装備されたことにより、最大トルクは 340Nm/4,400
～6,000rpm を誇ります。ボクスター S のものにさらに改良を加えたトランスミッションは、
シフトストロークがより短く設計され、精密なシフトチェンジが可能になりました。また
ケイマン S には、多くのドライバーに親しまれてきた 5 速ティプトロニック S 仕様車も用
意され、ステアリングホイールのスポーク部に組み込まれたロッカースイッチによりスポ
ーティーなシフトチェンジが可能です。ティプトロニック S もケイマン S への搭載に備え
てさらに洗練されており、電子制御ユニットと油圧ユニットに新型のものを採用していま
す。

ケイマン S は、ボクスターや 911 カレラとは一線を画しながら、ひと目で典型的なポルシェ
のスポーツカーとわかるデザインで造られています。楕円形のヘッドライトと独特のエ
アインテークは、新デザインのフロントセクションをさらに引き立てます。

フォグランプは外側のエアインテークに組み込まれ、現在のポルシェのデザインフィロソ
フィーに基づいた一台であることをはっきりと示しています。低い位置に設けられたフロ
ントウインドウフレームや際立つルーフラインは、ユニークでダイナミックなフロントビ
ューを強調します。

長いホイールベースや緩やかに流れるリアセクション、フレームに沿ってダイナミックな
形状にデザインされた斬新なクーペラインは、個性的なシルエットを生み出しました。リ
アビューのデザインは大型のテールゲートや左右に大きく張り出したフェンダー、可動式
のリアスポイラーによりさらに洗練されています。独特のスタイルによるデュアルチュー
ブタイプのエグゾーストテールパイプは、リアトリム下、中央に位置します。テールゲ
ートは、260 リッターの容量をもつラゲッジコンパートメントへ容易に荷物を積み込めるよ
うに大きく開く設計です。さらに、150 リッターのフロントラゲッジコンパートメントと
各種収納機能も設けられ、ケイマン S は 2 シーターモデルでありながら高い実用性も備え
ています。

アルミニウム製シャーシのワイドトレッドは、スポーティーでダイナミックなルックスを強調します。このシャーシには 18 インチのホイールとタイヤが標準装着されます。またポルシェ・スタビリティ・マネージメントシステム（PSM）を標準装備したことで、ドライビングダイナミクスとアクティブセーフティの両面で新たなベンチマークを確立しました。この他にもケイマン S には、ポルシェ・アクティブサスペンション・マネージメントシステム（PASM）をオプションで装備することができます。PASM はサスペンションの固さを路面の特性に応じて自動的に調整するシステムで、装備すると車高が 10mm 低く設定されます。PASM には「ノーマル」と「スポーツ」の 2 種類のモードが用意されており、センターコンソールのボタンで切り替えることができます。

<本件に関する読者からのお問い合わせ先> ポルシェコール 0120-846-911 ポルシェ ホームページ http://www.porsche.co.jp
--

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>
ポルシェ ジャパン株式会社
広報室／荒瀬大雅
〒153-0064 東京都目黒区下目黒 1-8-1 アルコタワー16F
TEL：03-5436-5923 FAX：03-5436-5919